

“畑の常備薬”でおなじみ!



各種土壌害虫に幅広く使えます。

ダイアジノン[®] 粒剤3

有効成分：ダイアジノン (PRTR・1種) … 3.0% 毒性：普通物* ※普通物とは毒劇物に該当しないものを指している通称

特長

土壌混和处理で各種土壌害虫に効果を発揮します。

コガネムシ類幼虫、タネバエ、ケラ、ネキリムシ類に即効的です。

ダイアジノンは日本化薬株式会社の登録商標

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

 **日本化薬株式会社**

東京都千代田区丸の内二丁目1番1号(明治安田生命ビル)
TEL.03-6731-5321 FAX.050-3730-7867

ダイアジノン[®] 粒剤3の適用害虫及び使用方法

この印刷物は2022年1月末現在の登録内容に準拠して作成しました。

作物名	適用害虫名	10a当り 使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数				
かんしょ	コガネムシ類幼虫	5~10kg	作付け前及び 収穫30日前まで	3回以内	土壌混和	3回以内 (マイクロカプセル剤の植付前の 処理は1回以内、 マイクロカプセル剤の散布は2回以内、 粒剤の散布は2回以内)				
	ケラ ネキリムシ類	6~9kg	植付前	1回		3回以内(植付前の土壌混和は1回以内)				
キャベツ	コガネムシ類幼虫	5~10kg	収穫30日前まで	2回以内		2回以内				
カリフラワー ブロッコリー	ケラ ネキリムシ類	6~9kg				は種時又は植付時	2回以内	2回以内 (粒剤の生育期の処理は1回以内)		
	コガネムシ類幼虫	5~10kg	2回以内							
レタス	ケラ、ネキリムシ類	6~9kg	は種時又は植付時	1回		2回以内	1回			
	コガネムシ類幼虫	5~10kg	植付時							
はくさい	ケラ、ネキリムシ類	6kg	は種時	2回以内		1回	3回以内 (生育期は2回以内)			
	コガネムシ類幼虫	5~6kg								
トマト ピーマン とうがらし類	ケラ ネキリムシ類	6~9kg	は種時又は植付時	2回以内		土壌混和	2回以内			
	コガネムシ類幼虫	5~10kg	植付時	1回						
きゅうり	タネバエ	5~8kg	は種時又は植付時	2回以内	2回以内			4回以内 (粒剤の生育期の処理は3回以内)		
	ケラ、ネキリムシ類 ウリハムシ幼虫	6~9kg								
	コガネムシ類幼虫	5~10kg								
すいか かぼちゃ メロン	タネバエ	5~8kg	植付時	1回	2回以内			3回以内 (粒剤の生育期の処理は2回以内)		
	ケラ、ネキリムシ類 ウリハムシ幼虫	6~9kg								
	コガネムシ類幼虫	5~10kg								
なす	ケラ、ネキリムシ類	6~9kg	は種時又は植付時	2回以内	土壌混和			2回以内		
	コガネムシ類幼虫	5~10kg	植付時	1回						
だいこん はつかだいこん	ケラ、ネキリムシ類	6~9kg	は種時	2回以内		1回	2回以内 (生育期は1回以内)			
	タネバエ	5~8kg								
	コガネムシ類幼虫	5~10kg								
ねぎ わけぎ あさつき	タネバエ	5~8kg	は種時又は植付時	2回以内		土壌混和	2回以内			
	コガネムシ類幼虫	5~10kg	植付時	1回						
たまねぎ	タネバエ、ケラ、コオロギ	5~8kg	は種時又は植付時	2回以内					2回以内	だいずは6回以内(種子粉衣は1回以内、 粒剤は5回以内(生育期の処理は4回以内))、 あずきは4回以内(種子粉衣は1回以内、 は種時の処理は1回以内、 生育期の処理は3回以内)、 いんげんまめは3回以内 (種子粉衣は1回以内、粒剤は2回以内)、 らっかせいは1回、 上記以外の 豆類(種実)は4回以内 (種子粉衣は1回以内、粒剤は3回以内)
	タマネギバエ	3~5kg								
	コガネムシ類幼虫	5~10kg								
いちご	コガネムシ類幼虫	6~9kg	植付時(仮植床)	1回	1回					
		6~9kg	植付時(仮植床)	1回						
豆類(種実)	ケラ コガネムシ類幼虫 タネバエ	5~9kg	は種時	1回	1回					
たばこ	コガネムシ類幼虫 ネキリムシ類 ハリガネムシ類	6~9kg	植付前	1回	1回					

⚠ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
- 畑作物の土壌害虫防除に使用する場合は下記の事項に注意してください。
- ①使用量は全面処理の場合の薬量であるので、作条処理の場合は処理面積に応じて薬量を減らしてください。
- ②植付前又は播種前に土壌全面又は作条に処理し土壌とよく混和してください。なお、コガネムシ類幼虫に対しては作物の生育期に使用する場合は作条処理し軽く覆土してください。
- ③たばこに使用する場合植穴処理では薬害を生ずることがあるので、作条の土壌になるべく幅広く散布し土壌とよく混和してから植付けてください。たばこは薬害を生じやすいので散布及び混和むらがないように特に注意してください。
- いちごに対しては仮植床のみの使用とし、本圃では使用しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかけないようしてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

⚠ その他の注意事項

- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

⚠ 安全使用上の注意事項



- 取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。
- 本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤があります。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また粉末を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(甲殻類、ドジョウ、ボウ)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。比較的低濃度でも魚が平衡失調等を起こすので、養殖池等周辺での使用は避けてください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。